

静岡県立高等学校の在り方に係るグランドデザイン（沼津地区）

（高校教育課 学校づくり推進班）

1 要旨

沼津地区の県立高等学校の在り方について、地域協議会での協議を踏まえ、グランドデザインを策定した。

○スケジュール

時 期	内 容
令和4年11月14日	第1回県立高等学校の在り方に係る地域協議会
令和6年3月15日	第5回県立高等学校の在り方に係る地域協議会
令和6年7月22日	第6回県立高等学校の在り方に係る地域協議会（グランドデザイン検討）

2 グランドデザインの概要

- ・高校数（公・私立）が多く、地区内外の流出入が盛んな沼津地区の特徴を踏まえ、持続可能な教育を展開するために最適な方策を検討

(1) 目指す人物像

- 探究力、創造力、自己調整力、コミュニケーション能力を有する人
- 基礎的な学力に加え、専門的・実学的知識を有する人
- 自分の好きなものを見つけ関心を持ち、自らの将来像を描ける人
- 地域のことを自分ごとと捉え、地域に関心を持つ人

(2) 目指す学校像

- 時代に即した特色ある学校、私立高校が行わないような専門的教育（実学）の提供
- 沼津ならではの多様な学びの提供（例：医療・福祉・介護、ICT、農業、国際等）
- 地域産業との関わり重視、普通科も含めた産業界・行政との連携の強化
- 様々な子どもを支えるセーフティネット機能の強化

➤ 「未来を見据えた実学系高校」

- ・工×商×αの産業間を超えた学び
- ・未来を見据えた取組（バカロレアCP、AOI連携、外部人材・ICT活用等）
- ・県全体での検討（産業教育審議会R6～7）

➤ 「横断的な学びの普通科高校」

- ・リベラルアーツ、STEAM教育、探究など教科横断的・実社会で生きる学び
- ・各校の特色発展（医療系人材育成、芸術科と普通科・特支との連携、地域探究等）

※生徒数減少を見据えた計画的な体制整備（実学系高校や適正規模の実現を最優先）
（～R8方針検討）

(3) 今後の対応

各学校におけるグランドデザインの具現化については、各市町・学校と詳細な協議を行った上で決定する。

沼津地域〈県立高校〉のグランドデザイン

【課題認識・全県】

- 少子化が進行する中で高校の改革（配置と規模のあり方など）
- VUCA、Society5.0など変化の激しい時代を生き抜く力

【課題認識・沼津地域】

- 10年後（R15頃）には生徒数が現在の8割以下に減少する見込み
- 高校数（公・私立）が多く、地区内外の生徒の流入が盛ん
- 公・私比率は概ね1：1、首都圏を意識した進路選択
- 地区内外で活躍する人材の育成、流動性の高い地域の持続可能性の確保

【高校改革の基本認識・全県】

- 行ける学校から行きたい学校へ、画一から多様へ（学びの変革）
- 地域・実社会と共にある学校（開かれた学校づくり）
- 時代の変化を踏まえた教育基盤（学校の配置・規模等）

【高校改革の基本認識・沼津地域】

- 知・徳・体のバランスのとれた、他者と関わり国際的にも活躍できる生徒の育成
- 生徒が自分の将来像を描くことができる、多様で専門的、持続可能な教育の展開
- 地域への愛着・誇り・志を持って、地域の発展に関わろうとする意識の醸成

【目指す人物像】

- ・探究力、創造力、自己調整力、コミュニケーション能力を有する人
- ・基礎的な学力に加え、専門的・実学的知識を有する人
- ・自分の好きなものを見つけ関心を持ち、自らの将来像を描ける人
- ・地域のことを自分ごとと捉え、地域に関心を持つ人

【目指す学校像】

- ・時代に即した特色ある学校、私立高校が行わないような専門的教育（実学）の提供
 - ・沼津ならではの多様な学びの提供（例：医療・福祉・介護・情報・ICT、農業、国際など）
 - ・地域産業との関わり重視、普通科も含めた産業界・行政との連携の強化
 - ・様々な子どもを支えるセーフティネット機能の強化
- ※生徒数減少を見据えた計画的な体制整備（実学系高校や適正規模の実現を最優先）（～R8方針検討）

【キーワード】「未来を見据えた実学」「普通科も含めた横断的な学び」

【具現化のための方策】

*別にイメージ図を添付

【学びの変革のあり方】

- 多様で専門的・先進的な学びの展開
 - ・複数校による連携、地域との連携によるカリキュラム、学習内容の多様化
 - ・普通科と実学系カリキュラム、実学系の高校間等で連携した学びの特色化
 - ・生徒が自分の将来を設計するキャリアプランニング能力の育成
 - ・グローバル教育など私立高校も参考にした取組
 - ・特別支援学校（分校）と連携した共生・共育推進
- 学びの変革に向けた環境整備
 - ・生徒を育む教員の資質向上（働き方改革含む）
 - ・公立高校の魅力のアピール、イメージ戦略

【地域との連携のあり方】

- 全ての公立高校における地元自治体や地域産業界との連携強化
 - ・地域と連携した探究学習、職業観の育成・キャリア教育の推進、地域産業の担い手育成
 - ・多様な経験を踏まえた人間形成の機会の提供
 - ・市街地の再開発や駅の高架化など、沼津地区のまちの将来等について考える機会の提供
 - ・学校と地域や企業をつなぐコーディネート人材の育成

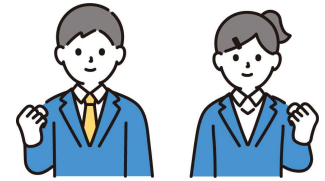
【教育基盤のあり方】

- グランドデザイン実現に向けた最適な方策の検討
- 学校・学科間で連携した学びの推進（遠隔教育の活用）
- 未来を見据えた実学系高校
 - ・工×商×αの産業界を超えた学び
 - ・未来を見据えた取組の導入検討（バカロレアCP、AOI連携、単位制、総合学科、外部人材・ICT活用…）
 - ・県全体での検討（産業教育審議会 R6～7）
- 横断的な学びの普通科高校
 - ・リベラルアーツ、STEAM教育、探究など教科横断的・実社会で生きる学びの展開
 - ・各校の特色発展（医療系人材育成、芸術科と普通科・特支との連携、地域探究、中高一貫教育…）

沼津地域〈県立高校〉のグランドデザイン

目指す人物像

- ◎探究力、創造力、自己調整力、コミュニケーション能力を有する人
- ◎基礎的な学力に加え、専門的・実学的知識を有する人
- ◎自分の好きなものを見つけ、自らの将来像を描ける人
- ◎地域のことを自分ごとと捉え、地域に関心を持つ人



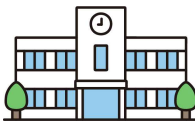
目指す学校像 →生徒数減少を見据えた計画的な体制整備(実学系高校や適正規模の実現を最優先)【～R8方針検討】

- 時代に即した特色ある学校
- 私立高校が行わないような専門的教育(実学)
- 沼津ならではの多様な学び
- 地域行政・産業との連携の強化
- 様々な子どもを支えるセーフティネット機能

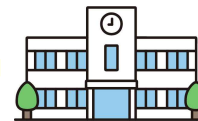
北駿地区の状況も視野に入れて

未来を見据えた実学系高校

- 工×商×αの産業間の垣根を超えた学び
 - ・国際バカロレアキャリア教育プログラム(CP)
 - ・AOI機構との連携
 - ・単位制、総合学科、外部人材・ICTなど
- 県全体での検討
 - ・産業教育審議会(R6～7)



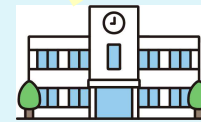
(市立沼津)



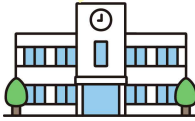
沼津東



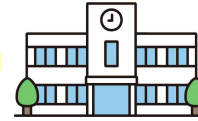
沼津商業



沼津西



沼津工業



沼津城北

グランドデザインを踏まえた
最適な方策の検討

学校間・学科間で連携した
学びの推進
(遠隔教育のフル活用)

横断的な学びの普通科高校

- 教科の枠を超えた実社会で生きる学び
 - ・リベラルアーツ
 - ・探究
 - ・STEAM教育など
- 各校の特色発展
 - ・医療系人材の育成
 - ・芸術科との連携
 - ・地域探究
 - ・中高一貫教育など

